“総合診療 専門研修プログラムの紹介”

地域や働く環境のあらゆる変化に柔軟に対応できる総合力という強み

栃木医療センター 内科医長 **矢吹 拓**

総合診療医が求められる理由――

背景には、高齢化に伴う疾病構造の変化や医療の専門分化があると思います。具体的には多疾患併存（Multimorbidity）や治癒しない慢性疾患の下降期、認知症高齢者の増加によって、特定の専門医だけでは対処できない患者層が増えてきたことが影響しています。

総合診療医の役割、魅力、強み――

総合診療医は、一つの領域をとことん追求するタイプの専門性ではなく、複数の領域を横で繋ぐタイプの専門性を有しています。自らが提供できる範囲と専門的な医療が必要な範囲を適切に判断し、ケアのバランスを整えることが役割です。司令塔としての役割を果たしながら、時折ゴールも決めるプレイヤーみたいなイメージでしょうか。また、足し算だけでなく引き算ができる医療を提供することや、どこで働くかによって役割が変わり、それに柔軟に対応できることが魅力であり強みです。

栃木医療センターの総合診療専門研修プログラムについて――

当院の総合診療研修の特徴は、総合的な内科研修と連携を活かした診療所研修です。内科は専門家を含めた全内科医が協力して診療にあたっています。外来・救急・病棟と同時に担当するため、研修医は心不全・肺炎・脳梗塞・糖尿病・胆嚢炎など、多彩な疾患の経験をローテート研修することなく経験可能です。

診療所研修は、普段から同じ2次医療圏内で連携している在宅支援診療所で行います。小児科診療から訪問診療まで幅広い研修が可能であり、病院で担当した患者さんを訪問したり、訪問で担当している患者さんの入院担当になったりすることで、患者さんのご家族・生活背景に注意を向け、生物医学的な視点だけでなく心理社会的背景に気付けるようになります。

プログラムの特長――

当院では1dayバック方式を採用しており、病院研修中も週1回は診療所へ、診療所研修中も週1回は病院で研修を継続します。過去には、自ら救急車対応した患者さんの入院管理、退院後は一定期間外来診療を行い、通院困難になった際に訪問診療で看取りまで経験した研修医がいました。地域の多職種と看取り症例を振り返るデスカンファレンスや地域包括支援センターとの地域会議を通して、地域ニーズを知ることもできます。

全国からモチベーションの高い専攻医が集まっており、切磋琢磨しながら楽しく学ぶことができます。多彩なカンファレンスと、指導医からの濃厚なフィードバックを受けることで、エビデンスに基づいたスタンダードな疾患管理を学び、患者背景を意識した診療を提供することができます。

Q 総合診療医に必要なスキルと大切なマインドは？

A 総合診療医には幅広い知識や手技などの臨床スキル以外に、さまざまなノンテクニカルスキルが必要です。また、プライマリ・ケアを特徴付ける5つの理念がACCCAです。

Accessibility	近接性
Comprehensiveness	包括性
Coordination	協調性
Continuity	継続性
Accountability	責任性

Q 総合診療医になったきっかけは？

A もともとは小児科医になりたかったのですが、初期研修でさまざまな診療科を経験するうちに総合的な診療に魅力を感じるようになりました。そして、東京医療センター総合内科の後期研修説明会で「普通の医師になる」ことを目標としていることを伺い、共感を覚えて門をたたきました。楽しいと思うことを続けているうちに、いつの間にか総合診療的な仕事をするに至ります。興味のある皆さん、ぜひ遊びに来てください！

栃木医療センター
総合診療プログラム × ローテーションイメージ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科 栃木医療センター 内科									小児科 栃木医療センター 小児科		
2年次	総合診療Ⅰ ①宇都宮協立診療所 ②生協ふたば診療所 ③ひばりクリニック						総合診療Ⅱ ①獨協医科大学 日光医療センター ②利根中央病院 ③名瀬徳州会病院 ④県立宮古病院 ⑤健育会西伊豆病院					
3年次	救急 ①済生会宇都宮病院 救命センター ②栃木医療センター 救急部			総合診療Ⅱ 栃木医療センター 内科						内科 栃木医療センター 内科		

PROFILE

出身地 ： 埼玉県行田市
出身大学 ： 群馬大学（2004年卒）
宝物 ： Martin D-28
座右の銘 ： “connect the dots”

国立病院機構
栃木医療センター
所在地 〒320-8580
栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37
WEB https://tochigi.hosp.go.jp/

栃木医療センターの特長

栃木医療センターは栃木県宇都宮保健医療圏の中心的な急性期病院です。総合診療が可能であり、2次救急病院輪番病院・地域医療支援病院・第2種感染症指定医療機関としての役割を担っています。総合医・各専門医は内科医としての共通基盤を重視し、常に診療、カンファレンス、勉強会などを合同して行っています。それぞれの専門性を共有しながらも、最新のエビデンスに基づいた内科診療を目指し切磋琢磨しています。

症例数が多い

内科単科として診療しているため年間を通じてコモンからレア疾患まで多くの症例を経験できます。

内科学会J-OSLER
承認済み症例 全国1位
※2019年1月31日（専門研修のみ）
▼専門研修症例平均
91.5

積極的に手技ができる

ローテション形式ではないため年間を通じて継続した検査・手技が可能でスキルアップはかなり早いです。

指導体制が充実

研修医に好評の外来症例カンファをはじめ多くのカンファレンスや勉強会などで総合内科指導医・各サブスペ専門医からの定期的なフィードバックを受けられます。